

GUNNM *Last Order*

Vol. II

木城ゆきと



スーパー・ノヴァ博士



ディスティ・ノヴァの進化形。
悪魔的な天才科学者。

刀耳



超電磁空手の使い手。
かつてガリィと闘い、敗北。
ZOTTでの再戦を熱望。

ゼクス



ガリィの複製として作られた
戦闘用アンドロイド。
一戦ごとに成長している。

絶火



宇宙空手を極めた男。
ゼクスの戦闘能力に興味を持ち、
ZOTTに参戦。

アガ・ムバディ



LADDER議長補佐で、
イエールの事実上の支配者。

ガリィ(陽子)



本編の主人公。
火星生まれのサイボーグ戦士で、
機甲術の使い手。

近未来

世界は、支配する者と支配される者とに二分されていた。圧倒的な力で地上を治めるのは、天空に浮かぶ人工の楽園都市・ザレムだが、誰が、いつ、何のために、空中都市を造ったのか、知る者はいない。

地上のクズ鉄町に住むザレム出身の医師・イドは、古い瓦礫の中から少女の頭部を発見し、ガリィと名付ける。奇跡的に甦ったものの、彼女の記憶は完全に失われていた。しかし、クズ鉄町での生活は、ガリィの中に眠っていた「戦士」の血を徐々に呼び覚ます。ガリィは賞金稼ぎを生業としながら、金欲に自己発見の道を突き進み始めた。

ザレムに憧れる少年・ユーゴと出会って恋を知り、彼の死にまみえ魂の燃え涙を知った。絶望から逃れようと飛び込んだプロスポーツ・MB界では、帝王と呼ばれる男・ジャシユガンとの邂逅、死闘、決別を経験する。自身を刃のようになり研ぎ澄まし、闘い、挑むことによって、ガリィは内なる自分を見つめ続ける。だが、狂気の科学者・ノヴァに改造されたザパンとの闘いの果てに、ガリィは「家族」であるイドを失い、己の命さえも風前の灯火となってしまう。

そのガリィを拾い上げ、新たな道を提示したのは、ザレム地上監察局だった。イド再生の鍵を握るノヴァの行方を追うために、ガリィはザレムの地・エーシエント・TUNEDとして生きる道を選んだ。

ガリィは、傭兵のフォギアと知り合い、なくしかけていた「人」の心を取り戻す。そんなガリィの前に立ちちはだかる者が次々と現れた。ノヴァの息子でサイコメトラーのケイオス。ケイオスの第二の人格として生まれ、ザレムに對する民衆のリーダー・電。電を慕う少女・ユミ。ガリィの複製として作られたTUNED・GRシリーズ……。熾烈を極めた闘いの中で、TUNEDシステムをバックアップしていた協力者・ルウは解任され、ザレム人の脳がマクロチップであるという驚愕の真実が明かされる。

対自核夢による脳内ハッキングをはねのけノヴァを倒したガリィは、ついに勝利したかに見えた。が、フォギアのもとへ向かう彼女を待ち受けていたのは、

は、ノヴァが仕掛けた思いもかけないトラップ——ノヴァはナノマシン・テクノロジーによって再生していたのだ。

そして、爆死したガリィの脳は、空中都市・ザレムへと持ち込まれた……。

空——までのストーリーは、読夢(完全版)——6巻に収録されています。

ノヴァの手により、ガリィは究極のイマジノス体を与えられ復活を果たす。行方不明だったルウが発見されるが、それは脳内チップを抜かれた死体だった。ルウの生身脳を捜して、ガリィはノヴァと護衛のGRシリーズ・ゼクスらと共に、宇宙都市・イエールへ乗り込んだ。だが、イエールの実力者・ムバディにノヴァは捕らえられ、ガリィたちは宇宙空間へ遺棄されてしまう。間一髪、元・凄腕ハッカーのピンクと、火星王国・リメイラ女王に救助されたガリィたちはルウの脳奪還のチャンスを持つて、イエールで開催される森羅天頂武闘大会・ZOTTに出席することになった。

ZOTT第一回戦、ガリィは宇宙天使隊は、カエル率いるガンтроールを撃破。カエルから、謎のプログラム「ファタ・モルガーナ」を託された。つづく第二回戦をゼクスらに任せ、ガリィはイエール本体への潜入を企てる。途中、かつての機甲術教官と遭遇したことがきっかけで、ガリィは過去の記憶を取り戻した。決意を新たにしたガリィは、「ファタ・モルガーナ」を使い中央電脳へとタイプ。そこでガリィが見たのは、不死の血族と人類との長い対立の歴史だった。最終闘争に勝利した人類のリーダー・アーサーは、世界の仕組みを構築。両者の共存を願っていた血族のヴィルマを後見人とし、「最終指令」の権限を与えた。

ようやくルウの生身脳を捜し出したガリィを衝撃が襲った。知らぬ間に自身の脳が摘出され、マイクロチップに換装されていたのだ。生身脳を失った自分は、もう人間ではないのか!? 絶望したガリィは身も心もぼろぼろとなり、奈落へと落ちていった……。

005

037

069

殺るゝ氣満々

101

133

虎の尾を踏む

165